

番号	事業種別[事業所管局] 事業名
2	新施設整備事業 [福祉局] 弘済院の認知症医療・介護機能を継承・発展させる新施設の整備

新施設の名称

総称：大阪健康長寿医科学センター（略称：大阪長寿）

研究施設	大阪公立大学医学部附属健康長寿医科学センター研究所
病院	大阪公立大学医学部附属健康長寿医科学センター病院
介護老人保健施設	大阪市立介護老人保健施設 弘済長寿苑

新施設の理念

- 弘済院が培ってきた認知症医療・介護機能を継承・発展させるとともに、認知症の人の身体合併症医療の充実を図る
- 大阪公立大学医学部附属病院等との密接な連携のもと、大阪市南部基本保健医療圏における小児・周産期医療の充実を図る
- 健康、医療、福祉施策と連携し、認知症の人が安心して暮らせる地域包括ケアシステムの仕組みの構築に寄与する
- 認知症等に係る先進的な研究及び医療・介護等の人材の育成を推進する

整備概要

敷地概要	
所在地	大阪市住之江区東加賀屋1丁目
敷地面積	約15,730㎡

施設概要		
病院・老健棟	5階建／鉄筋コンクリート造・鉄骨造	約 19,100㎡
研究棟	3階建／鉄筋コンクリート造	約 3,200㎡
管理棟	1階建／鉄骨造	約 440㎡
付属棟 [小児科・産婦人科（外来）]	1階建／鉄骨造	約 530㎡



完成予想図（敷地南東より）

事業の概況 [前回評価時]	
事業開始	令和3年度
事業完了予定	令和8年度（新施設開設は令和9年度）[令和6年度]
全体事業費	229億円[89億円]
既投資額	14億円[－]
進捗率	6.3%[－]（事業費ベース）

前回評価後の進捗状況について	
【事業の進捗状況】	杭工事・免震工事・基礎工事が完了し、現在、躯体工事中。12月より順次、内装工事に着手予定。なお、令和8年末の完成に向けて当初予定通り順調に進捗している。
【今後の取組方針】	令和8年12月整備完了予定 （その後、開設準備期間を経て令和9年度当初開設予定）



鳥瞰パース（南東より）

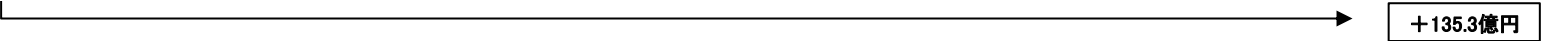


令和7年9月時点工事状況

建築工事費の推移

※全体事業費のうち建設工事費のみ（基本設計費、実施設計費、工事監理費等を除く）

単位（千円）							
	H31年4月	R2年10月 (R3当初予算)	R3年10月 (R3当初予算)	R4年9月補正	R5年5月補正	R6年5月補正	R6年11月補正
	基本計画	基本設計	実施設計	入札公告前	建築不落後	機械不落後	インフレ等
建設工事費	8,592,000	12,890,000	13,300,001	15,049,001	20,300,000	21,154,800	22,127,280
	(前回比)	4,298,000	410,001	1,749,000	5,250,999	854,800	972,480
工事費の増額等について		・感染症対策等による延床面積の増加 +10.9億円 ・建築単価の増 +18.2億円 ・地中障害撤去費の増 +6.0億円 ・土壌汚染対策費の増 +7.9億円	・工事費変動率（都市整備局算定率：3.26%）を反映	・土壌汚染対策費 +13.5億円 ・工事費変動率（都市整備局算定率：3.14%）を反映 +4.0億円	・建設資機材の価格高騰影響 +40.6億円 ・工期延長（※）に伴う影響 +12.7億円 ※建築工事入札不落による開設延期（詳細後述） R5年5月補正後の契約落ち▲0.8億円	・機械設備工事に係る資機材の価格高騰影響 +8.5億円	・建築工事に係るインフレスライド +7.7億円 ・障害物撤去等の追加工事 +3.3億円 入札落ちによる不用額にて一部対応



事業完了予定年度の延期について

・令和6年度→令和7年度

大学との協議で新施設の運営に係る財政的なリスクや医療機能等について精査する必要が生じ、病院再編計画の手続を次年度に見送ることとなった。これにより、厚生労働大臣から同意を得て着手する実施設計も開始が遅れ、新施設の開設は1年程度遅れることとなった。

・令和7年度→令和8年度（新施設開設は令和9年度）

令和5年2月に建築工事入札不落となった。入札不落原因調査の結果、週休2日工事とすることで技術者の確保を行うこととし、工事期間を30.5か月から36.5か月に変更した。再入札手続き（7か月）及び工事期間見直し（6か月）により、令和9年度当初の新施設開設を目指すこととなった。